

○「新体制となって合同会議で意見交換会」

(京丹後市峰山・大宮地区合同連絡会議 令和元年8月)(第11回)
(第8回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年8月7日 午後5時～午後6時15分
- 場 所: 京丹後市大宮庁舎
- 出席者: 農業委員6人、最適化推進委員8人、委員以外: 農業委員会事務局員1名(欠席推進委員2名)
- 報告者: 石嶋政博 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 地理的条件: 中山間地域で大きくは竹野川流域と鱒留川流域に別れた水田地帯で商業エリアと里山エリアに区分される。
- 農用地の特徴: 稲作主流の水田地帯、里山開発の畑地帯もあり
- 農業経営の状況: 水稲主流農家は小規模ながら機械装備があり自己完結型がほとんど。

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農業委員会定例会の審議案件の概要報告
- 農業委員会の意見書作成のための要望事項等意見交換
-
-
-
-
-

4 活動結果

- 情報・意見交換 **1.5** 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援